

# 稲城野草散策の会

野草スケッチ カマツカ（バラ科）



1996/05/07

稲城市坂浜

絵と文 Ta

ウシゴロシという別名を持つが、毒があるわけではありません。材が堅いことを利用して、牛の鼻輪を通すときの穴あけに使ったことからついた名前ようです。カマツカも鎌の柄に用いられたことを示しています。



「稲城」の名前は、明治22年に近隣の6ヶ村が合併した際に作られたものだそうである。名前の由来は、鎌倉時代にこの地を支配していた稲毛三郎からきたものという説もあるが、はっきりしないらしい。

---

会報第5号 2005年5月8日発行 発行責任者 尼子 房夫

稲毛三郎が築いた山城は穴沢天神社（HP 野草スケッチ：オカタツナミソウの項参照）の裏山を登った山頂付近である。

のちに稲毛三郎の子、小沢次郎重政が居城としたことから、小沢城址と呼ばれている。小沢城址は稲城市と川崎市との境（都県境でもある）に位置し、空掘りや井戸の跡が現在でも残っている。

小沢城址は観察会でもよく利用しているフィールドだ。

ことに樹木の観察にはたびたび訪れている。

まだ樹木が苦手だったころ、1人で来ては凶鑑と首っ引きを行った。

そんな思い出があるし、1本1本の木に愛着を感じている場所なのである。

樹木ウォッチングには、草花に対する場合とは違う感覚が必要と思う。

草花の場合には、花の「顔」を頼りに親しんでいくことができる。

樹木の花の時期は短いので、よほど目立つ花でなければ、咲いていることすら気づかずにシーズンが終わっていることもしばしばだ。

草花の感覚で樹木に取り組むと、手がかりがなくて、途方にくれることになる。

稲城へ越してきたばかりの頃、樹木はみんな同じに見えて苦しんだ。

「オバチャンノヒゲ（HP 野草スケッチ：オオバジャノヒゲの項参照）」を笑ってもらえない。

「樹木を覚えるにはどうしたらいいんですか」

よく受ける質問、いわゆるFAQ（パソコンなどで繰り返し出てくる質問）だ。

これに対しては、次のように答えることにしている。

「樹木と仲良くなることです。仲良くなるためには、同じ木のところへ何度も何度も通う必要があります。初対面でいきなり名前とか電話番号を聞いても逃げられてしまいますよ」

冗談めかして言っているが、私は大真面目である。

同じ木のところへ春夏秋冬通って、季節ごとの生活ぶりを見てほしいと思う。

別に遠くへ出かける必要はない。

庭木でも街路樹でも、自分の気に入った木の下へ通いつめるのである。

その際、名前は知らなくてもかまわない。

駅でいつも見かける可愛い娘に胸をときめかせた、あの感覚だ(^\_^)

ひたすら、見つめるのである。

そうやって顔見知りになってから名前を教えてもらえば、忘れるはずがないではないか。

（注意：人間の異性に対してこの手法を用いると、ストーカーと呼ばれることがある）

小沢城址で親しくなった樹木はたくさんある。

カマツカもその一つだ。

最初は実で覚えた。

次に、葉の特徴をとらえることができた。

翌年、花を見たときには感激した。

やがて、真冬の、葉も実もない状態でも、冬芽でわかるようになった。

もう、カマツカとは大の仲良しである。

カマツカの花は5月上旬ころに咲く。

しかし、花の時期を逃したからといって嘆くことはない。

一年中遊んでもらえるのが、樹木ウォッチングの楽しみなのである。

### 〔観察記録〕 4月17日 三沢川下り

このコースは本当にいろいろなものを見ることが出来てお勧めです。好天に恵まれ、79名という大勢の参加があり、若葉台駅から稲城駅までたっぷりと歩きました。ヤマドリソウが満開で、この場所で何回も見た中でも最高にきれいだったのが印象的でした。コースのあちこちで、いろいろな種類のスミシヤジロボウエンゴサク、ムラサキケマンも咲いていました。

### 〔観察記録〕 4月23日 新宿御苑・サトザクラを観る

日比野さんのご案内で新宿御苑のサトザクラを観る会を催しました。土曜日なのに思ったより人出も少なく、午後崩れると予報された天気も終わるまでもって、よい観察会になりました。

ソメイヨシノは殆ど終わっていましたが、サトザクラは今が盛りのもが多く、今年一番の花見が出来ました。カンザン、イチヨウ、フゲンソウ、フクロクジュ、スルガダイニオイ、バイゴジジュズカケ、チョウシュウヒザクラなど十分にサクラを楽しみました。

### 〔観察記録〕 4月29日 野川公園

昨年と同じ4月29日に野川の観察会を企画しましたが、年によって花の咲き方も違いますね。最初に立ち寄った生け垣展示広場では、昨年満開だったヒトツバタゴがまだほとんど蕾状態だったので残念でしたが、ハンカチノキ、カラタネオガタマはもう咲いていましたのでまず良かったのではないのでしょうか。昨年見つけたチシャノキにも立ち寄りました。野川自然観察園ではオドリコソウの群生をはじめいろいろな花が咲いていて、良かったと思います。

## 2005/6/5 (日) ありがた山

項目	説明
集合	京王相模原線・京王よみうりランド駅 改札口付近 am10時 京王よみうりランド駅の改札口は一個所だけです ※会旗目標
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で3駅目 小田急、多摩モノレールの場合は、多摩センター駅で京王線に乗換えて4駅目 京王よみうりランド駅に急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	京王相模原線・稲田堤駅 pm4時頃解散予定
見所 その他	ありがた山石仏群 オニノヤガラ、ギンリョウソウなど、梅雨時に出る腐生植物が見られます。冬虫夏草の一種も出てきそうです
地図	
コース	よみうりランド駅→妙覚寺→ありがた山石仏群→雑木林散策→妙法寺(昼食)→よみうりランド→小沢城址→京王稲田堤駅(解散) 行程5~6 km、多少のアップダウンがあります(標高差100m以下) コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません

※雨天決行 参加申込み不要、会費当日300円